

聖霊のバプテスマの恵み

(使徒2・1〜4)

◆聖霊のバプテスマとは

一、聖霊に満たされる最初の体験である
聖霊のバプテスマを受けることと、聖霊に満たされるといふことは同じ意味です。では何が違うかと言つくと、聖霊に満たされた最初の時を聖霊によるバプテスマを受けたといふのです。2章の4節に「みな**が聖霊に満たされて**…」と書かれています。この弟子たちにとってはこれがイエス様の言われた聖霊のバプテスマを体験した時でした。しかしこの後使徒の働きを読みますと、弟子たちを表す時に何度も「聖霊に満たされて」という表現がされているのに気が付きます。聖霊に満たされることは、一度ではありません。何度でも満たされるし、いつも満たされていることを求めなければなりません。その最初の体験を聖霊のバプテスマと呼びます。

二、救いの後の、救いとは別の体験である

私たちは聖霊のバプテスマによって救われるではありません。あるいは救われたことを聖霊のバプテスマを受けたと呼ぶのではありません。もしそ

うであれば、イエス様は「聖霊があなたがたにのぞむとき、あなたがたは救われます」と言ったことでしょう。イエス様が言われたのは信仰者として力強く生き、イエス様を生き生きと証する力のことでした。この時弟子たちはすでに救われていたのです。でも聖霊によってバプテスマされる必要、聖霊に満たされる必要があったのです。

三、聖霊に圧倒され、聖霊に完全に支配されることである

バプテスマとは洗礼といふことです。このギリシャ語のバプティゾーという言葉は、もともと圧倒されるという意味です。もっと突っ込んだ言い方をすれば「死ぬ」ということをも連想させる言葉です。洗礼式は、水に浸かることよって、一度死んで、そして新しく生まれ変わるといふことを象徴する儀式です。それと同じように、私たちが聖霊に完全に浸りきって、死んだのと同じような状態になって、体も含めてその支配を委ねきつた状態になること。このことを聖霊のバプテスマといふのです。

◆聖霊のバプテスマは

四、異言によって証拠つけられる

ルカは、聖霊に最初に満たされた人に、何か共通するしるしが現われるこ

とを教えてくださいます。それはこの2章4節にあります次の聖句です。「2・4すると、**みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話しました。**」彼ら自身が知らない言語が、口から出てきたといふのです。この聖霊が語りしめるままに口からでる言葉を異なる言葉、異言と言います。

五、奉仕の力を与えるものである

聖霊の力とは愛する力です。聖霊に満たされる時、私たちは神様を愛する力、人を愛する力をいただくことができるのです。

- ①礼拝に対する熱心さ
- ②祈りの生活が豊かになる
- ③証人としての生活に力が与えられる

◆今週の暗唱聖句

「ヨハネは水でバプテスマを授けましたが、あなたがたは間もなく、聖霊によるバプテスマを授けられるからです。」

使徒1・5

聖霊のバプテスマはイエス様の約束です。生き生きとした信仰生活を送るために、聖霊に満たされ続けることを求めていきましょう。